健全育成シリーズ（123）
ウサギ君の言い分も考えて

「もしもしカメよカメさんよ、せかいのうちでお前ほど歩みののろいものはない、どうしてそんなにのろいのか」「何をおっしゃるウサギさん、それなら私とかけくらべ・・・」ウサギは途中で昼寝をしたため、結局カメがこのかけくらべに勝つというのが有名なウサギとカメの話です。

さて、このかけくらべの後、ウサギ君に何と言いますか。

①だめじゃないか。途中で油断するから、負けてしまうんだ。

②真剣味が足りないよ、真剣味が。もっと、まじめにやりなさい。

③どんな相手にだって全力で勝負しなければ相手に失礼だよ。

だいたいウサギ君に反省してもらうように①～③のようなことを言うのではないでしょうか。

しかし、この①～③はどれも、《ウサギ君が悪いことをしている》と決めつけての言い方です。このように、言われてはウサギ君も良い気持ちはしないと思います。しかし、逆に『ウサギ君は悪いことなんかしていない』という見方はできないでしょうか。たとえば、ウサギ君はつぎのように考えていたのかもしれません。「カメ君にのろまって言ってしまって悪かったなあ。僕が目一杯走って、完全に勝ってしまったら、カメ君がますます傷ついてしまうだろうなあ。でも負けたくないなあ。そうだ、少し休んだ後でカメ君に追いつき、『カメ君はすごい頑張り屋さんだね。感動したよ』とカメ君をたたえながら二人で一緒にゴールしよう」もし、ウサギ君がそのように考えていたかもしれないという考えが浮かべば、ウサギ君への言い方も違ってくるのではないでしょうか。

④「ウサギ君は、カメ君をあんまり傷つけたくなかったから、わざと時間をつぶしたんだろう。けっこうウサギ君にも優しいところがあるんだなあ。そういう優しさって大切だよな。でも少し寝過ぎたな。カメ君と一緒にゴールできたらきっと感動的だっただかもしれないぞ」④は、『ウサギ君はいいやつなんだ』という信頼感が発言の裏に感じられます。④のように言われたら、何かほのぼのとしたあたたかさが感じられ、素直な気持ちになります。しかし、「④のように本人は考えていない場合はどうなるのか」という指摘もあると思います。その場合でも、『私はあなたを信頼しています』というメッセージが相手に伝わっているということ（この信頼感のメッセージは、前向きに生きる上での大切なエネルギーになります）。考えてもいなかった別の考え方、やり方の例が示せるという点（この例の場合、少し力を抜くのも優しさである。これは考えの幅を広げる上で、とても役に立ちます）。

アリとキリギリスの話ではどうでしょうか。キリギリス君にどのように話しますか。「やるべきことを先にやってないから後で困るんだ。次からは、やるべきことをやり終わらないうちは遊んではいけない」こんな雰囲気でしょうか。

しかし、これも《先に遊んで、後からやるべきことをやるのは悪いことだ》という決めつけが感じられ、言われたキリギリス君は、反発してしまいそうです。これも、『本当に先に遊ぶのは良くないことなのか』と考えてみれば、次のような言い方も可能です。「確かに、先に遊んで満足してから、仕事をしたほうが、仕事がはかどることもあるな。でも、遊びを終わるところをしっかりと決めておかないとせっかくの計画が駄目になってしまうよ。今回は遊びを終えるタイミングが甘かったな」このキリギリス君の例のようなやり取りは、よく各家庭でも見られます。『勉強してから遊ぶのか、遊んでから勉強するのか』、どちらがいいかは、難しい問題です。しかし、絶対に一方が正しくて、一方が間違っていると決めつけて子どもたちに話すと、反発が返ってきます。両方の良い点、悪い点を出しながら、「私はこう考えるけど、お前はどう考える」というような、話しができるといいなあと思います。私たちは日常生活の中で子どもたちに注意したりする時、①～③的な言い方をしがちではないでしょうか。しかし、すこしだけ④的な言い方が入ってくると子どもたちの反応が大分違ってくるのではないかと思います。

伝言板

富士北麓・東部地域振興局健康福祉部（大月保健所）

動物愛護デー

県では9月20日（木）～26日（水）までの7日間を山梨県動物愛護週間とし、動物の愛護と適正な飼育についての関心と理解を深めることを目的として、県内各地で様々な行事を予定しています。

特に9月24日（月）を動物愛護デーと定め、山梨県動物愛護指導センターにおいて、県と県獣医師会による動物に関する次のようなイベントが行われます。

○ポニーに乗って広場を一周できる**「ポニー乗馬コーナー」**

○獣医師による**「ペット健康相談」**

○子犬などと一緒に遊べる**「動物ふれあいコーナー」**

○犬の習性を解説しながら模範指導を行う**「犬のしつけ方教室」**

○かわいい子犬子猫の**「里親探しコーナー」**

○警察犬による**「模範演技コーナー」**

また、同会場で動物愛護図画コンクール入賞者及び長寿犬飼育者の表彰式典も行われます。

みなさんお誘い合わせの上お出かけください。

結核週間

我が国の結核事情は、今なお、国内最大の感染症であり、先進諸国の中で日本は罹患率・死亡率が高い状況にあります。さらに、近年、学校・医療機関・老人保健施設などにおける集団感染及び高齢者からの発見など、再興感染症として猛威を振るいかねない状況になっています。

厚生労働省では、結核予防は私たちにとって身近な問題であることから、国民一人ひとりに結核への正しい知識と理解を深めてもらうため、9月24日（月）～30日（日）を結核予防週間と定め、普及啓発活動を展開します。

こんな症状がでたら要注意

・せき（2週間以上続く）

・たん（いつもに比べ多くなった）

・血たん（たんに血が混じった）

・微熱や寝汗（発熱が続く以外に自覚症状がない場合もある）

※周囲の人が結核にかかったり、結核が疑われる症状が続いたら医療機関に受診しましょう。

また、年に1回は必ず結核健康診断を受けましょう。

問合先

大月市大月町花咲1608―3

（22）7824